

A25c 岡山理科大学田邊研究室天文台における激変星の測光観測

國富菜々絵、今村和義、田邊健茲(岡山理科大)

岡山理科大学田邊研究室では2001年から冷却 CCD カメラによる激変星の測光観測を行ってきた。激変星の中でも主にアウトバースト時における矮新星の連続測光観測、また新星の多色測光などを行っている。観測は7階建の大学棟屋上の観測室にある望遠鏡を、棟内制御室から遠隔で操作して行う。主に測光観測で使用する望遠鏡は口径235mm、F6.3のCELESTRONC9、また CCD カメラはST-7XE (SBIG社) と BVRI (y) フィルターを使用している。特に多色測光ではフィルターごとに焦点が変わるため、遠隔操作によりピント合わせができるようにしている。改良された観測装置、測光データの処理・解析方法、及び最近の測光観測結果をポスター発表の場で紹介する。